

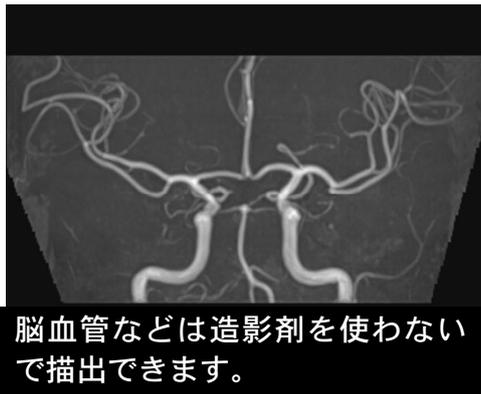


## ～ MRI 検査について ～ 放射線部

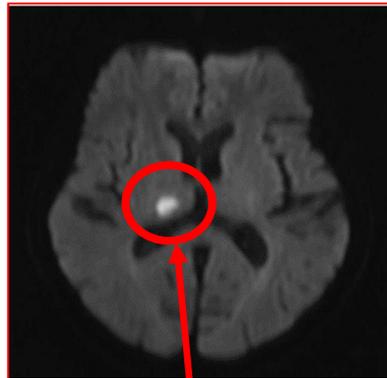
MRI とは、Magnetic Resonance Imaging の略で磁気共鳴断層撮影装置と呼ばれ、強力な磁石でできた装置の中で、その磁力と電波を使って身体の内部を画像化する検査です。X 線を使わないので放射線被ばくの心配もなく、頭から足まで全身の骨や筋肉・血管といった組織や内臓を精密に診ることができます。

検査目的に応じて多くの情報を集めるため時間がかかる、検査音がとても大きい、金属類の検査室内への持ち込みができないといった欠点もありますが、MRI 検査が診断に最も役立つ病気は多く、CT や超音波など他の画像検査と組み合わせることでより正確な診断につながります。特にクモ膜下出血の原因となる脳動脈瘤や血管異常、脳卒中や認知症に深い関わりのある動脈硬化や無症状の脳梗塞や脳腫瘍などの早期発見に有用です。

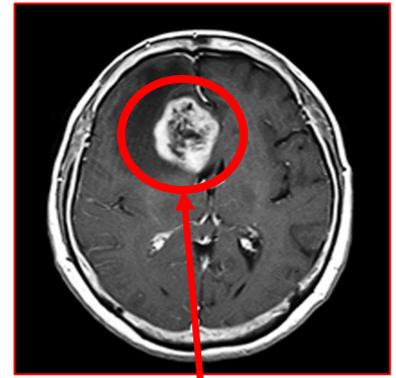
医療技術はどんどん新しくなっていくため、日々、最新の情報を収集して患者さんにより良い医療を提供できるように努めていきます。



脳血管などは造影剤を使わないで描出できます。

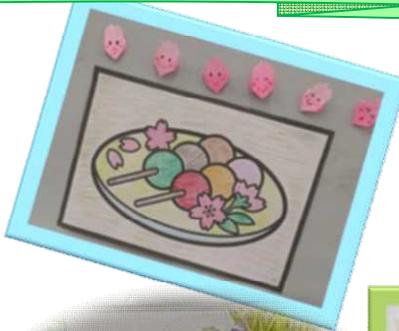


脳梗塞



脳腫瘍

## 通所リハビリ 作品紹介



### ▲今月の壁飾り

春らしい作品が色々出来上がっています!

## 「ポリファーマシー」って聞いたことありますか？ 薬剤部

多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなったりしている状態をいいます。単に、服用する薬の数が多いことではありません。

高齢になると複数の病気を持つ人が増えてきます。病気の数が増え、受診する医療機関が複数になる事も薬が増える原因となります。75歳以上の高齢者の4割は5種類以上の薬を使っており、使っている薬が6種類以上になると、副作用に注意が必要です。



### なぜ、高齢者では副作用が起こりやすいの？

高齢になると腎臓や肝臓の動きが弱くなり薬を分解したり、体の外へ排出するのに時間がかかるようになります。

また、薬が増えると薬が互いに影響しあうことがあります。そのため、薬が効きすぎてしまったり、効かなかったり、副作用が出やすくなったりすることがあります。

### ～「なにか変だな」、「いつもと違うな」と感じたら～

薬を飲んでいて、次のような症状が気になる事はありませんか？  
薬が追加されたり、変わった後は、特に注意しましょう。



気になる症状があっても、勝手に薬をやめたり、減らしたりするのはよくありません。薬が多いからといって必ず減らすべきということではありません。薬によっては急に止めると症状が悪化したり、思わぬ副作用が出る事もあります。必ず医師、薬剤師に相談しましょう。

**New!**



### ～送迎車が新しくなりました～

通所リハビリ送迎車の老朽化に伴い、この度、新しく送迎車（セレナ）を購入しました。

これから利用者さんを安心安全に送迎するために活躍しますのでよろしくお願いいたします。



長い間ありがとう!